

# 三重県の産婦人科医療の 現状と問題点

三重大学医学部附属病院産婦人科

吉田健太 田中博明 池田智明

拡大サステイナブル産婦人科  
医療体制確立委員会  
COI 開示

筆頭発表者名： 吉田 健太

今回の演題に関連して、  
開示すべきCOIはありません

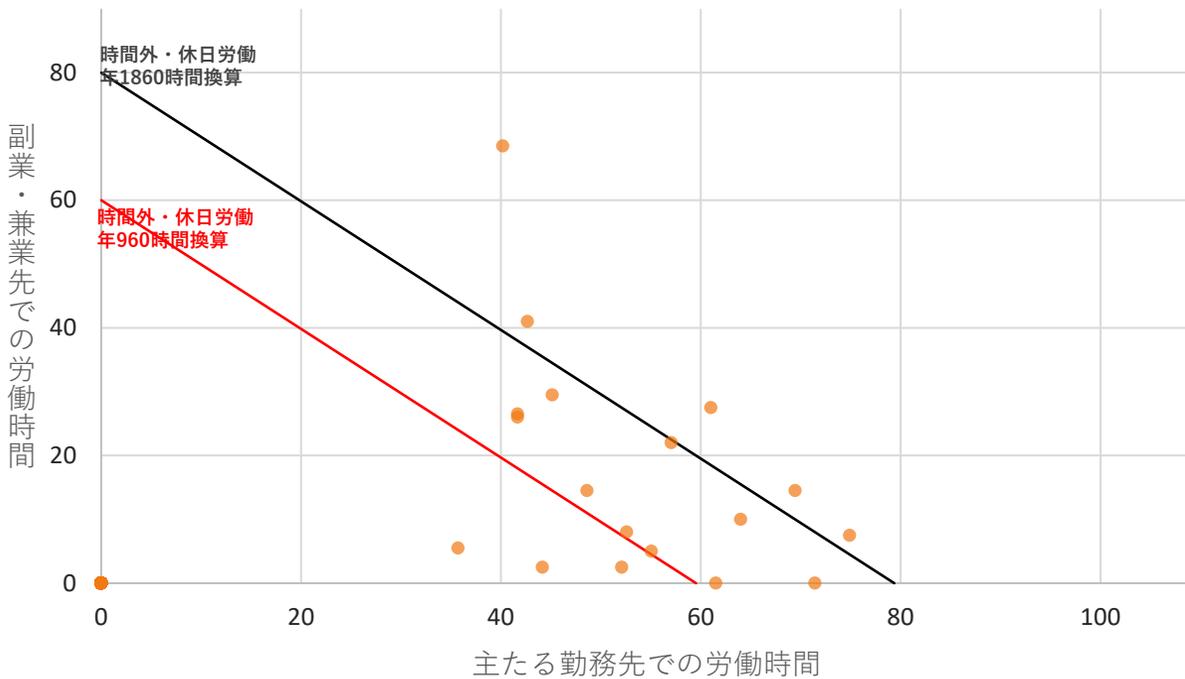
# 緒言

- 2024年にむけて、「**医師の働き方改革**」と「**医療安全**」を  
どのように確保するかは急務である。
- しかし、その問題を単施設で改善できることは難しく、  
近隣施設との連携が不可欠である。
- 三重県では、三重大学を中心に産婦人科医療を提供している。  
**持続可能な(sustainable)医療**提供のため、  
**三重大学を中心とした三重県の現状と問題点**  
を報告する。

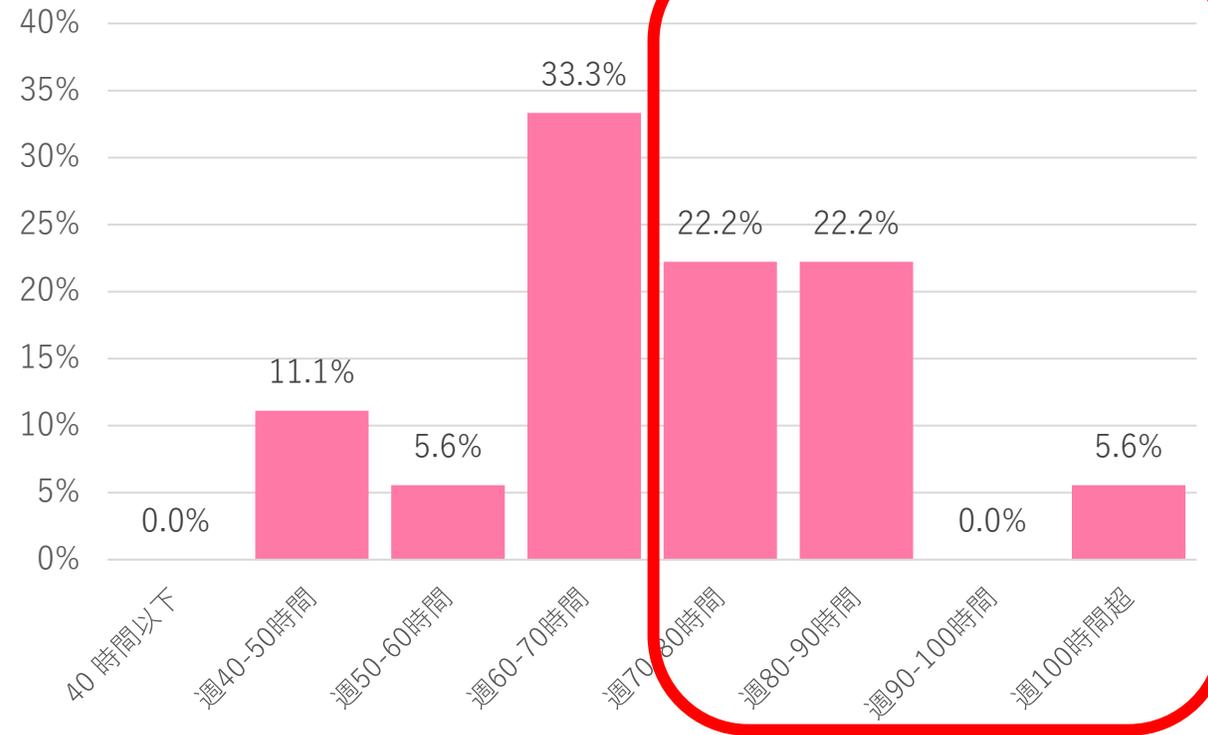
# 三重県における産婦人科の 勤務実態と診療体制について

# 三重大学産婦人科勤務実態調査(2021.12)

主たる勤務先病院待機除く、副業・兼業先待機含む



主たる勤務先除く、副業・兼業先待機含む



※任意の1日勤務制  
 ※当直は時  
**当院は宿日直許可を現時点では受けている。** 可能性あり

# 三重県の医療圏

人口 177万人(全国22位)  
出生数 12000人(全国24位)

## ・北勢

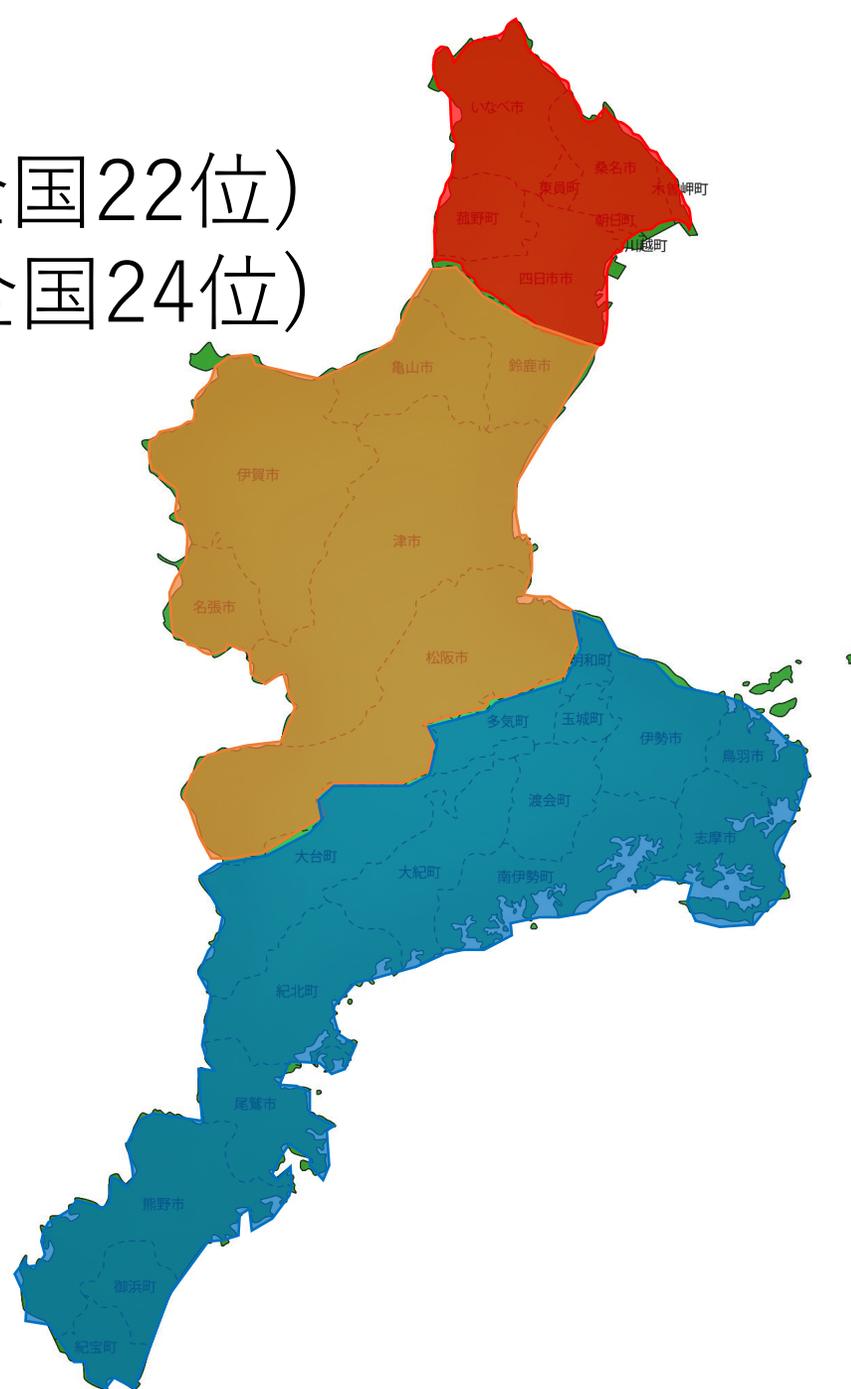
人口 58.0万人 (33%)  
出生数 4200人 (35%)

## ・中勢

人口 84.5万人 (48%)  
出生数 5800人 (49%)

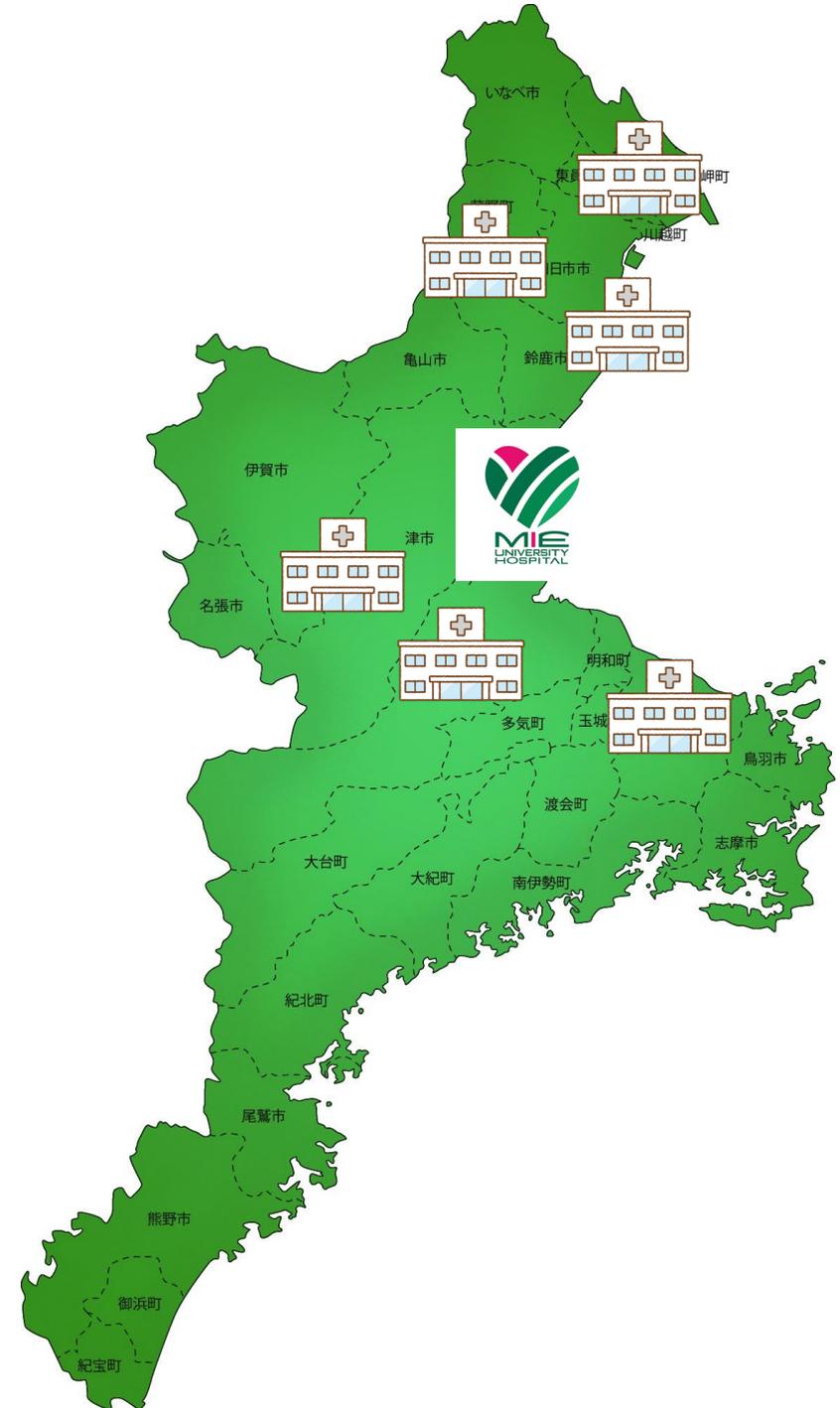
## ・南勢

人口 34.5万人 (19%)  
出生数 2000人 (16%)



# 三重県産婦人科の現状

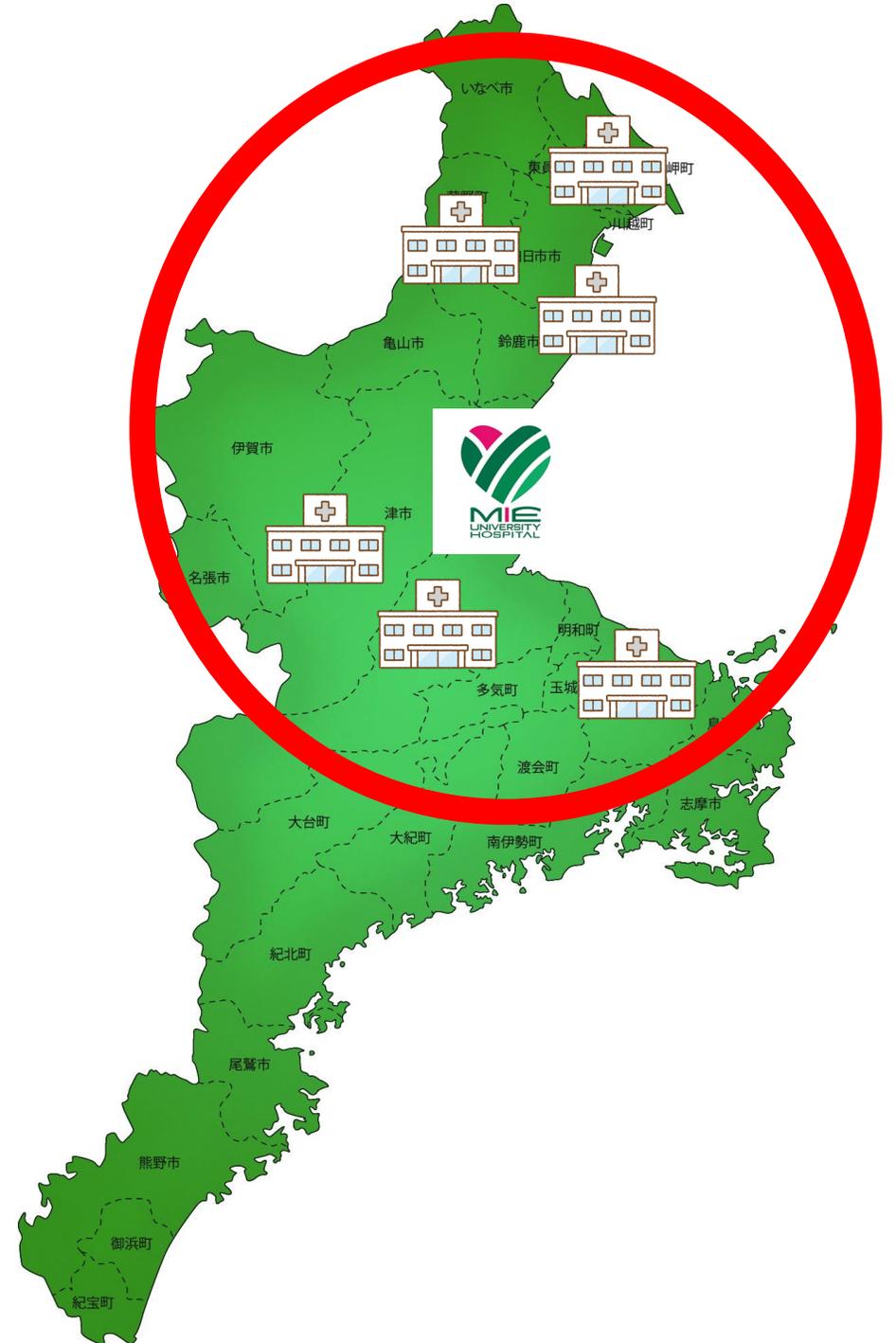
①搬送先となる急性期病院は7病院  
全て大学の関連病院



# 三重県産婦人科の現状

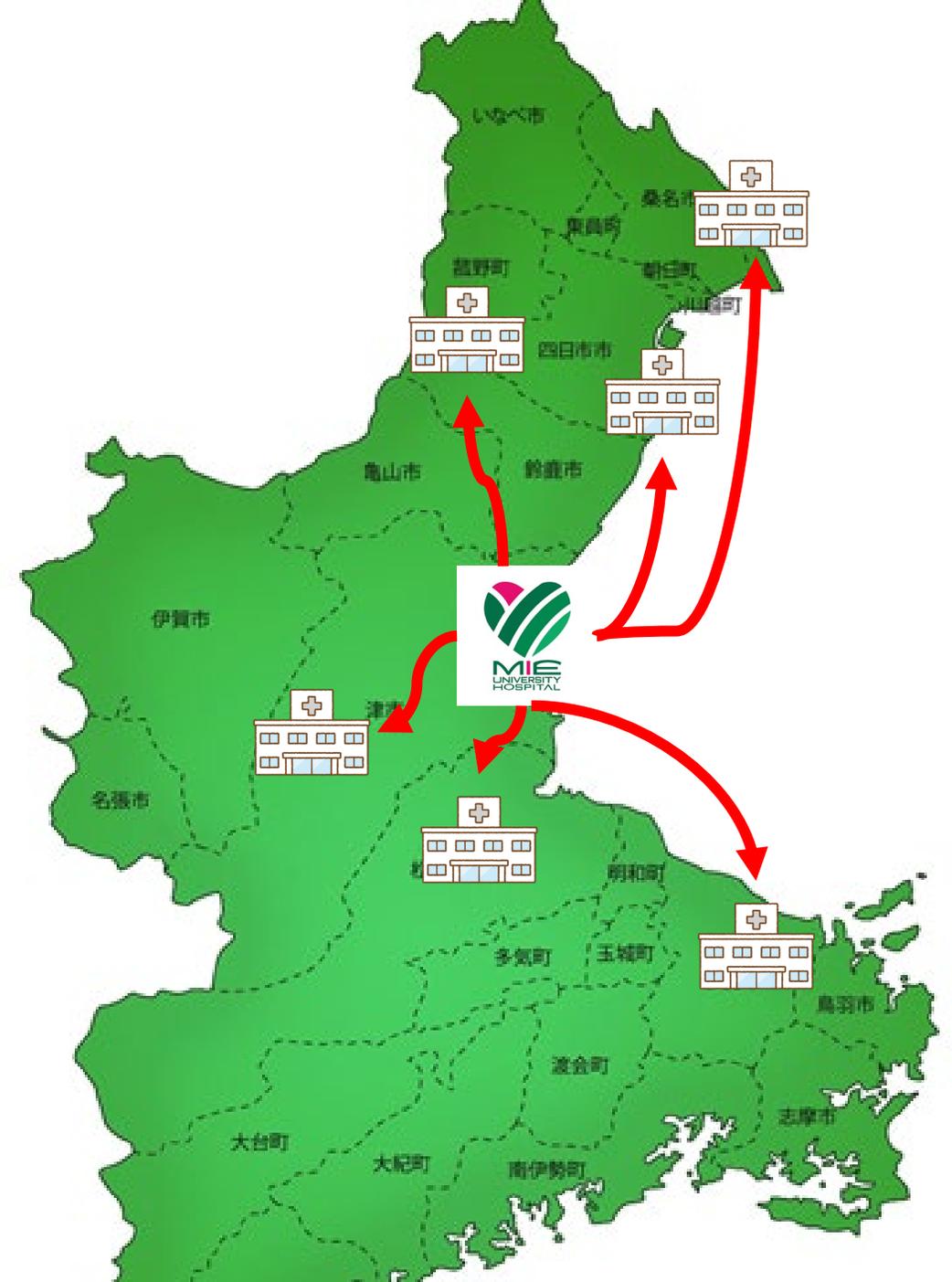
①搬送先となる二次・三次病院は7病院  
全て大学の関連病院

②大学より車で60分圏内



# 三重県産婦人科の現状

- ①搬送先となる二次・三次病院は7病院  
全て大学の関連病院
- ②大学より車で60分圏内
- ③大学より関連病院に  
手術・当直を派遣

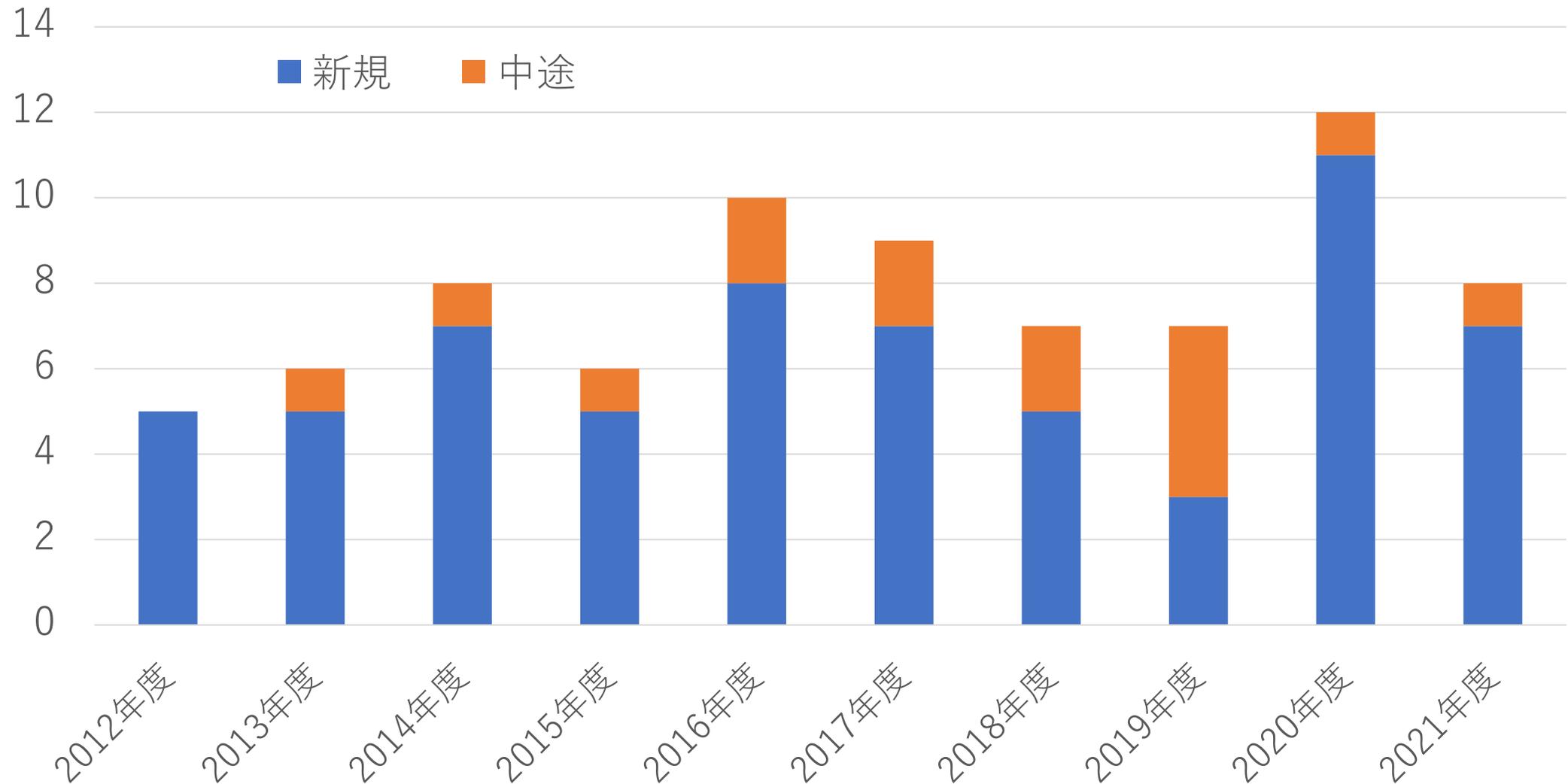


# 「働き方改革」と「医療安全」

の確保のために

- ①産婦人科医師の確保
- ②限られた医療資源の有効活用
- ③病院間の情報の共有
- ④ベテラン・中堅医師の層の充実
- ⑤子育て医師の増加に伴う診療体制の確立

# 産科婦人科・入局者数（2012-2021年度）

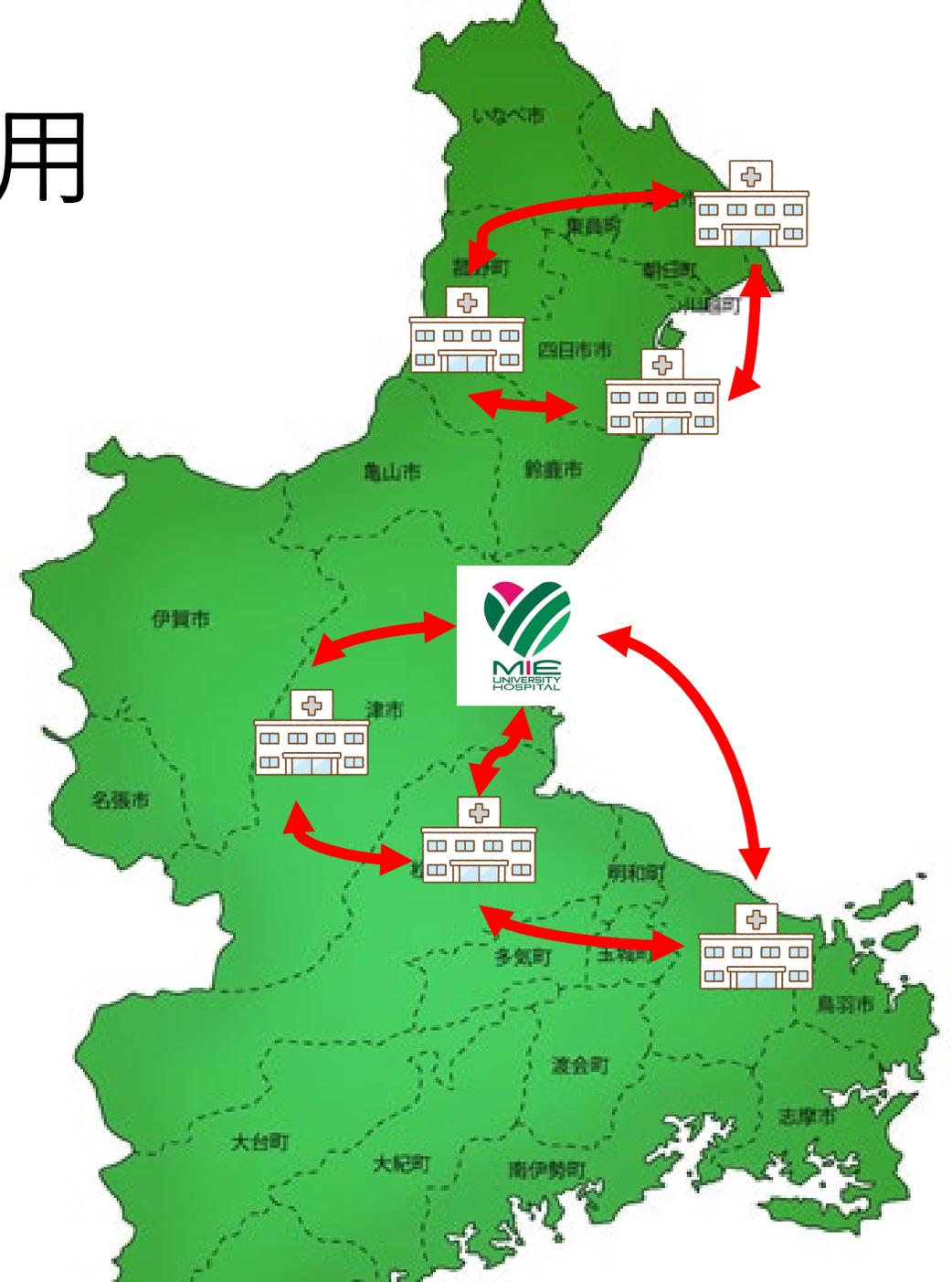


# 限りある医療資源の有効活用

医療圏の病院間で  
手術・当直を派遣

緊急時でも給与面は  
補償されている

イレギュラーな派遣にも対応



# カンファレンス(毎朝)

- 7病院が出席
- 産科、婦人科、生殖の分野の  
症例相談・報告
- 各病院の受け入れ態勢や  
悪性腫瘍手術枠の確認

- どの病院でも同じ方針で行うため、  
病院間で医師が異動しても、困惑  
することが少ない



# COVID-19合併妊娠症例の発生

診断場所が産婦人科ではない

診断場所がかかりつけの産婦人科である

医療機関より保健所へ連絡

かかりつけの産婦人科から保健所、大学へ連絡

医療機関より県庁へ連絡

大学の担当者へ連絡

受診検査を実施する医療機関を選定し、感染妊婦、医療機関と連携して受診を指示

入院が必要

入院は不要

県庁と大学担当者連携して入院医療機関を選定  
入院調整を行う

原則、検査実施機関での  
オンライン診療で自宅療養管理

# 「働き方改革」と「医療安全」

の確保のために

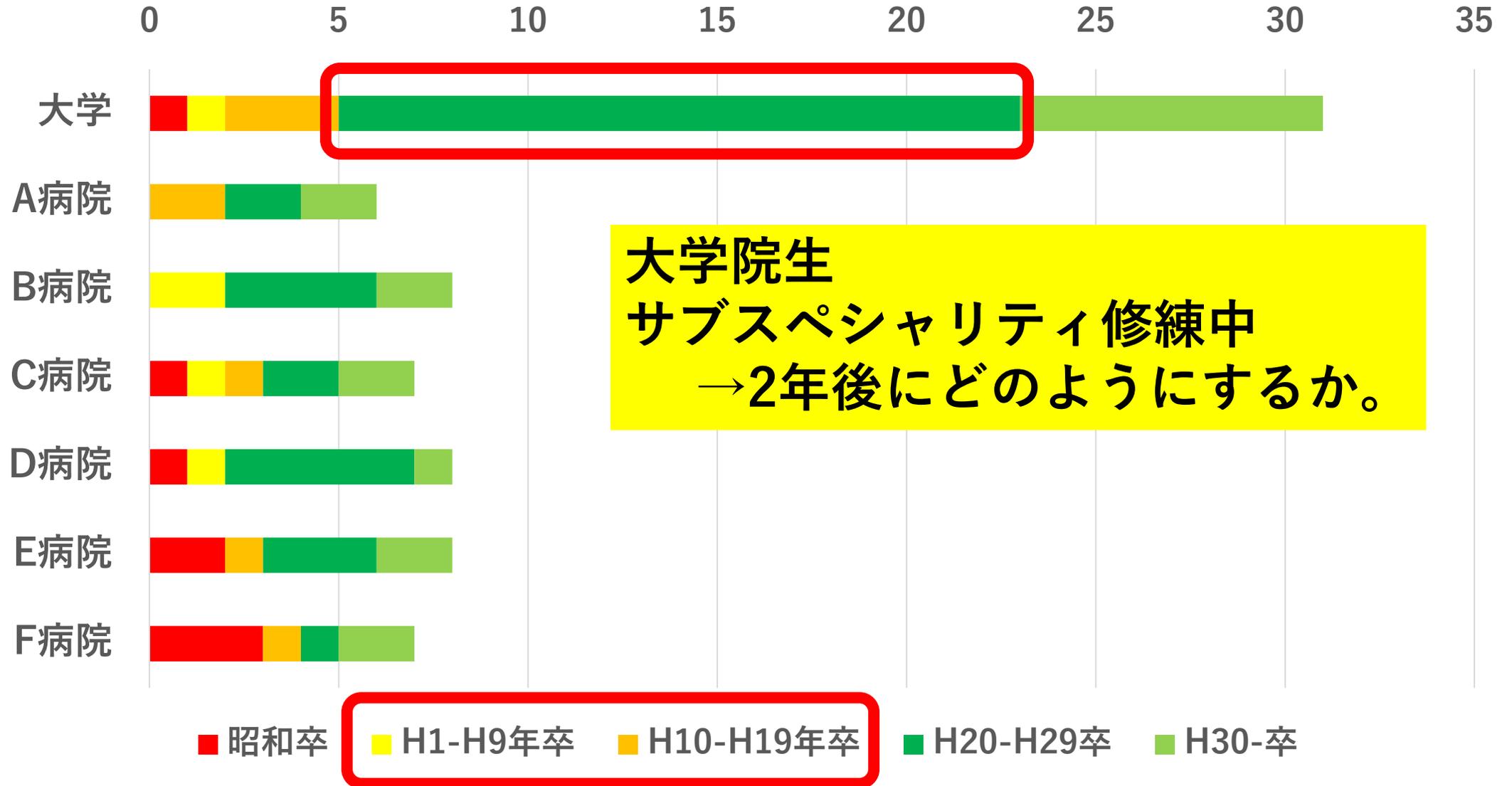
- ①産婦人科医師の確保
- ②限られた医療資源の有効活用
- ③病院間の情報の共有
- ④ベテラン・中堅医師の層の充実
- ⑤子育て医師の増加に伴う診療体制の確立

# 「働き方改革」と「医療安全」

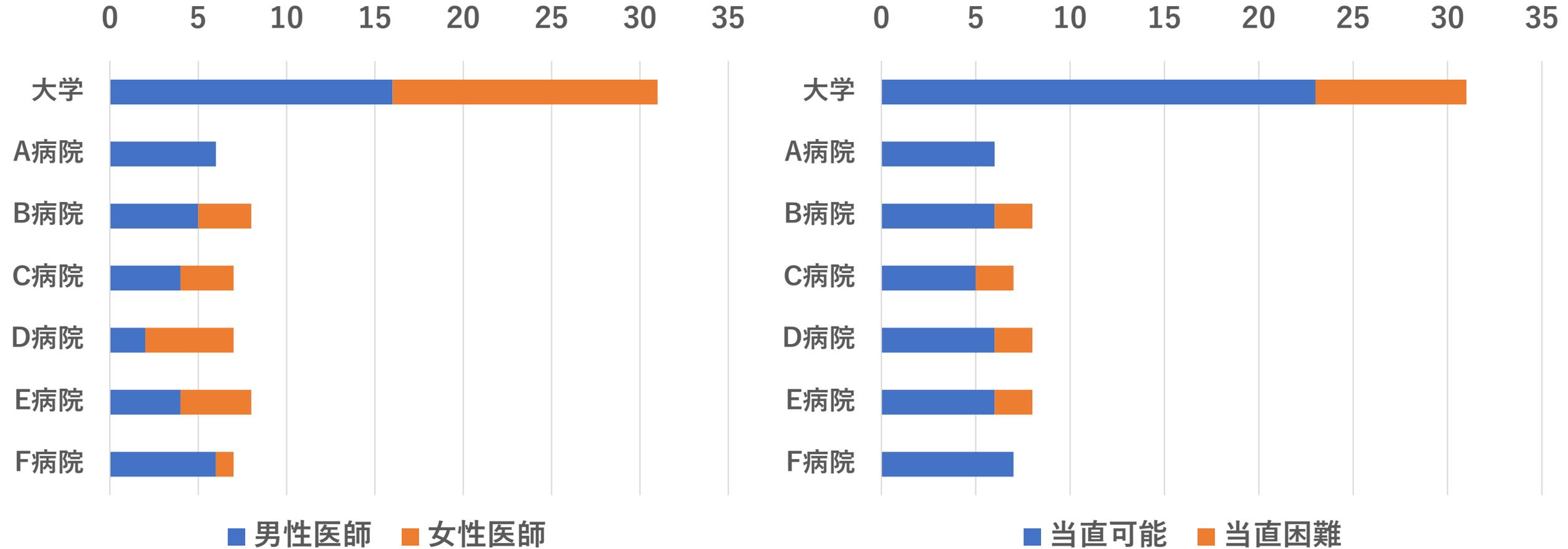
の確保のために

- ①産婦人科医師の確保
- ②限られた医療資源の有効活用
- ③病院間の情報の共有
- △ ④ベテラン・中堅医師の層の充実
- △ ⑤子育て医師の増加に伴う診療体制の確立

# 各病院の医局員(卒業年別)



# 各病院の医局員数



**連続時間勤務28時間後の診療体制(平日PM)**

**→ベテラン・子育て医師の協力が不可欠**

# まとめ

持続可能な(sustainable)医療提供のため、

①若手医師のリクルート

②病院間の密な連携

はこれからも持続していく必要がある。

今後の課題は

**子育て医師の協力およびスキル・キャリアアップ**

について、具体的な方法を提示する必要がある。